

全国がん罹患モニタリング集計 2015 年罹患数・率報告 (MCIJ2015) 正誤表

・ p.158 の地域がん登録の概況「17 石川県」が最新年ではありません。
(詳細説明) 研究班事務局のミスにより、石川県の地域がん登録の概況において 2014 年の内容が掲載されていました。

【正】

地域別集計表

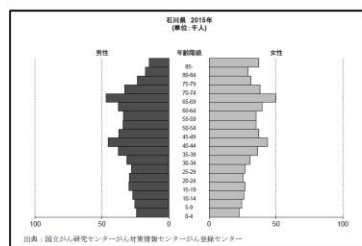
17 石川県

地域がん登録の正式名称	開始年	施設名	組織名
石川県地域がん情報管理事業	1991(平成3年)10月	石川県庁 (公社)石川県医師会	健康福祉部健康推進課 地域がん登録室

地域の概況

石川県は、北陸地方の中央に位置し、東は富山県及び岐阜県に、南は福井県に接し、北は日本海に突出する能登半島を有す。地形は、南西から北東に向かって細長く、中核市である金沢市を含む 11 市 8 町からなる。

2015 年時点の人口は約 115.4 万人で、1998 年をピークに減少している。老年人口割合は 27.5%、年間の死亡者数は約 1.2 万人であり、そのうちがんによる死亡が約 3 割を占める。



地域の医療施設

石川県には 4 つの二次医療圏があり、2007 年 1 月に、都道府県がん診療連携拠点病院として金沢大学附属病院が、地域がん診療連携拠点病院として県立中央病院など 4 病院が指定されている。また、2011 年 4

月に、県独自に地域がん診療連携協力病院として 2 病院、地域がん診療連携推進病院として 7 病院を指定している。

地域がん登録事業と登録方法

石川県の地域がん登録事業は、1991 年に県が実施主体となって開始し、県医師会、県内医療機関及び金沢市保健所の協力を得て実施している。

事業開始以来、登録室業務は県医師会へ委託し、集計・分析作業は県が実施する体制をとっている。

当初は、男性 8 部位、女性 10 部位に限定した部分登録を行っていたが、標準データベースシステム導入に伴い、2008 年から全部位登録を実施しており、2016 年には都道府県がんデータベースシステムへの移行を完了した。

がん診療連携拠点病院からの届出が全体の約 6 割を占めている。

データ解釈上の注意

遡り調査は実施しておらず、DCN=DCO となっている。2013 年症例より、精度基準 A を満たしており、正確な罹患データの把握ができる状況になってきている。

地域別集計表

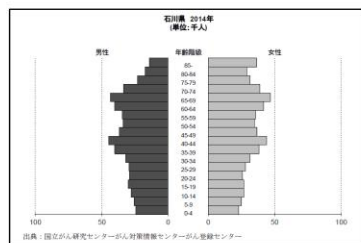
17 石川県

地域がん登録の正式名称	開始年	施設名	組織名
石川県地域がん情報管理事業	1991(平成3年)10月	石川県庁 (公社)石川県医師会	健康福祉部健康推進課 地域がん登録室

地域の概況

石川県は、北陸地方の中央に位置し、東は富山県及び岐阜県に、南は福井県に接し、北は日本海に突出する能登半島を有す。地形は、南西から北東に向かって細長く、中核市である金沢市を含む 11 市 8 町からなる。

2014 年時点の人口は約 115.6 万人で、1998 年をピークに減少している。老年人口割合は 27.2%、年間の死者数は約 1.2 万人であり、そのうちがんによる死亡が約 3 割を占める。



地域の医療施設

石川県には 4 つの二次医療圏があり、2007 年 1 月に、都道府県がん診療連携拠点病院として金沢大学附属病院が、地域がん診療連携拠点病院として県立中央病院など

4 病院が指定されている。また、2011 年 4 月に、県独自に地域がん診療連携協力病院として 2 病院、地域がん診療連携推進病院として 7 病院を指定している。

地域がん登録事業と登録方法

石川県の地域がん登録事業は、1991 年に県が実施主体となって開始し、県医師会、県内医療機関及び金沢市保健所の協力を得て実施している。

事業開始以来、登録室業務は県医師会へ委託し、集計・分析作業は県が実施する体制をとっている。

当初は、男性 8 部位、女性 10 部位に限定した部分登録を行っていたが、標準 DBS 導入に伴い、2008 年から全部位登録へと移行している。

がん診療連携拠点病院からの届出が全体の約 6 割を占めている。

データ解釈上の注意

遡り調査は実施しておらず、DCN=DCO となっている。前年に続き、精度基準 A を満たしており、正確な罹患データの把握ができる状態になりつつある。